

日本一になるチャンス！！

日本一になるチャンスが訪れた。

10月14日、岸田首相が衆議院の解散を行い、10月31日（日）に衆議院議員選挙が行われることになった。では、なぜ日本一のチャンスなのか……。『投票率日本一の高校』を目指そうということだ。現在、18歳以上のすべての国民に選挙権がある、ということは、10月なので、単純に考えて3年生の半数近くの人が選挙権を持っていることになる。その人たちが100%投票に行けば、他にも100%の投票率の高校があったとしても、日本一には間違いがない。一人ひとりの投票行動の積み重ねとすぐに結果がわかるということもわかりやすい。普通、日本一になるのは簡単ではないが、これならできるかもしれない。

「VOTE 100! For your future For your future children」

一人ひとり小さな一票かもしれないが、「推し」候補者に自分の意思を託すことができる。自分の未来のために、自分の将来の子どもたちのために、どの候補者を衆議院議員にしたいかを考えようではないか。

10月31日に忙しい人は、期日前投票も可能だ。

「推しに一票！」そして、「投票率日本一の高校」に！

もう、冬季五輪の準備？

「ギリシャ・オリンピック委員会は……来年2月に開催される北京冬季五輪の聖火採火式を同国オリンピックで10月18日に、北京五輪組織委員会への引き継ぎ式をアテネで翌19日に、いずれも無観客で実施すると発表した。」(<https://www.tokyo-np.co.jp/article/132692>) 先般夏季オリンピック・パラリンピックが終わったと思ったら、もう次の北京冬季オリンピックの準備が始まった。例年なら、夏季と冬季の間は2年空くが、東京オリンピック・パラリンピックが1年延期になったため、このようなことになった。

高田真希を知っているか？

高田真希（たかだまき）選手は、バスケットボール女子日本代表として、リオ大会に続き、東京でも出場し、キャプテンとして銀メダルを獲得する原動力となった選手だ。金髪の#8と言えば高田選手だ。

彼女への『10代の君へ』という朝日新聞のインタビューの中で、『失敗を失敗と捉えるな、経験と捉えろ』が持論です。バスケットボールはミスがつきものの競技。一番だめなのは消極的になること。失敗ではなく経験。この経験をしたから今度はこうしてみよう。それでもだめなら次も変える。一つの失敗に対して悩む時間が多いほど、うまくいかないものだと思います。（朝日新聞令和3年9月27日）

「よく使う言葉に『自信』があります。字のごとく、自分を信じる。そのためには普段からやることをやらないと自信は生まれません、いざという時に力を発揮できない。自信をつけることを含めて、何かやる時には自信を持って取り組んで欲しいと思います。」（朝日新聞令和3年9月27日）

日本史上初めてオリンピックバスケットボール競技で銀メダルを獲得した女子代表チーム。ヘッドコーチのトム・ホーバスの手腕もさることながら、キャプテンの高田が失敗を恐れず、常に挑戦する姿勢を貫いたからこそ、また、自分を信じる気持ちを持ち続けたからこそ、この結果につながった。もちろんその裏には、並大抵ではない努力があり、それが自信となり、いざという時に力を発揮できたことは言うまでもない。やはり、挑戦は尊い。

We keep on challenging. 挨拶日本一の高校を目指して 文責：姫路別所高等学校長 篠原 歩